

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス ONE		
○保護者評価実施期間	2024年 8月 1日		2024年 8月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	33人	(回答者数) 14人
○従業者評価実施期間	2024年 8月 1日		2024年 8月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7人	(回答者数) 7人
○事業者向け自己評価表作成日	2024年 12月 24日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	小学校低学年から高学年を対象に集団活動への参加を促し、他者との関わりの中でコミュニケーション能力の向上を図る	児童の様子を見ながら必要に応じて、個別に声掛けを行う事で、意識して行動をすることが出来るよう促していく。	個々の能力に応じて、段階を踏んで集団活動似取り組む事が出来るように工夫が必要と思われる。
2	支援員の指示を聞き、行動する事が出来るように支援を行っている。	個々の特性に応じて、声掛けだけではなく、絵カードや写真・筆談といったツールを使用し、本人が理解しやすいように伝えるようにしている。	指示待ちにならないように、自分で考えて行動出来る様に支援の幅を広げていく。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	様々な特性を持つ児童が通っている為、個々に合った療育が必要となる。その為、支援員が特性の理解をしていく必要がある。	会議等で個々の特性について話し合いを行っているものの、適切な支援には繋がっていない場面が見られる。	研修等への参加を行い、支援員の個々の知識や技術を身に付けていく。
2	低学年から高学年の児童が登所している為、人数が多い時は少し狭く感じる時がある。	以前に比べ、利用者の人数の増加に伴うところがある。	子ども達が快適に過ごす事が出来るように、環境の整備を行っていく。
3			